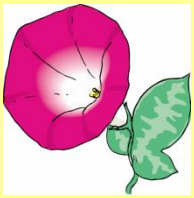
須賀川市立第一小学校　学校だより　No.６　　令和　４年　９月１日

桜水 2022

学校内の草花（９月）

【教育目標】　何事にもすすんで取り組み、気概をもって立ち向かう、心豊かな児童の育成をめざす
　○　心の豊かな子ども（交流）　○　健康でたくましい子ども（挑戦）　○　意欲的に考える子ども（自立）

- ごあいさつ -　　第二学期の始まりにあたって



朝夕の涼しさや夜の虫の声に少しずつ秋の到来を感じるようになってきました。皆様におかれましてはますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、大きな怪我や事故もなく、学校は二学期のスタートをきることができました。始業式では、子どもに「いつも一生懸命で」という話をしました。学習も運動も、そして遊ぶときや係の活動もいつも全力で一生懸命な子どもであってほしいなと思います。そして、学校生活が「たのしいな」と思う子どもが一人でも多くなるとうれしいです。

一年間で一番長い学期の二学期ですが、これから秋に向けて、「桜水発表会」「宿泊学習（５年生）」など様々な行事があります。また、夏休み期間中と二学期始まってすぐの二回、特設合唱部はコンクールに出場したところですが、特設マーチングバンド部は９月の県大会に、６年生も10月の陸上交歓会に参加する予定です。

日々の生活の中で子ども一人一人が育つよう、職員一同一丸となって教育活動にあたってまいります。保護者の皆様のさらなるご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いします。

須賀川市立第一小学校長　菅野　哲哉

夏休みの思い出と二学期の抱負

▲　放送での始業式

３５日間の夏休み、子どもたちは、たくさんの思い出ができたようです。また、二学期が始まると、早速子どもたちはそれぞれに「こんな二学期にしたい」というめあてを立て学校生活を送っています。

第二学期始業式は校内テレビ放送で行いましたが、以下は代表で発表した六年　根本萌花さんと４年　目黒優那さんが発表した内容です。堂々とした立派な発表でした。子ども一人ひとりがそれぞれに実り多い二学期となるようにしていきたいです。

「二学期にがんばりたいこと」　　６年　　根本　萌花さん

夏休みは、いろいろなところに行ってたくさんの展示物を見てきました。行くまでは、美術館は絵を見るだけでつまらないところだと思っていましたが、体験型の作品もあり、色とりどりで明るく、触れたり中に入れたり音を感じたりと、とても楽しいところで、自分の想像力を豊かにしてくれました。

驚きの多い楽しい夏休みでしたが、私は夏休みが始まったときからずっと、早く学校が始まってほしいと思っていたので、今はとてもうれしいです。

私たち六年生にとって、小学校も残り七ヶ月です。二学期がもっと楽しい毎日になるように、私は二つの目標を立てました。

一つ目は「いつも明るい笑顔でいる」ということです。うまくいかないときは、マイナスのことではなく、プラスのことを考えられるように前向きな心を持ち過ごしていきたいです。

二つ目は「何でもそのときにやる」です。私はいつも勉強も片付けも後回しにしてしまいます。勉強ではわからないことをそのままにせず、聞いたり調べたりして、そのときにしっかり覚えられるようにしていきます。勉強だけでなく、気づいたときには行動できるようにしていきたいです。

二つの目標を頭に入れて、二学期も大好きな学校で楽しく生活していきたいと思います。

「夏休みの反省と二学期のめあて」　　４年　　目黒　優那さん

私は夏休みの目標を二つたてました。

一つ目は「夏休みの宿題を計画通りに進める」ことです。予定通りに宿題を終えることができました。

二つ目は「水泳で２５メートルを泳げるようになる」ことです。目標通り２５メートルを泳ぐことができるようになりました。

今日から二学期が始まります。私はがんばりたいことが二つあります。

一つ目は「あいさつ」です。一学期は小さな声でしかあいさつができなかったり、礼をするだけだったりしました。二学期は、いつも大きな声で元気にあいさつができるようにしたいです。

二つ目は、「算数の学習」です。一学期は小数や図形の角が苦手だったので、復習をしていきたいです。新しく学習する内容もがんばりたいです。

二学期楽しみなことは自然体験学習です。森の標本箱を作るのが楽しみです。長い二学期ですが、楽しいことをいっぱい見つけていきたいと思います。

－響け！歌声　届け！私たちのハーモニー－

令和４年度　岩瀬地区小・中学校合唱祭　　**令和４年度　tbcこども音楽コンクール**

岩瀬地区小・中学校合唱祭は８月１０日（水）に須賀川市文化センターで、ｔｂｃこども音楽コンクールは８月２７日（土）に喜多方プラザで開催され、本校特設合唱部が出場しました。出場した子どもの多くが「満足できる演奏だった」と思う好演でした。

暑い夏も練習をし本番に臨んだ子どもたちに拍手を贈ります。

大会を終えて　　特設合唱部部長　松川　良翔

本番の大会に向けて、限られた時間の中で同じところを何度も何度も練習してきました。特に夏は暑くて大変でしたがみんなで頑張りました。

２回の大会は不安でしたがきれいなハーモニーを響かせることができました。応援してくれた家族、すべての皆さんに感謝しています。

音楽っていいなと思います。これからもずっと音楽をそばに置いておけるよう、続けていきたいです。

審査員の先生方の講評

※　岩瀬地区小・中学校合唱祭での審査の先生方の本校合唱部の演奏の講評（抜粋）です。

○　この大変なときにとても透き通った声を聞くことができました。ありがとうございました。先生のことをとても信頼して歌っている姿が印象的でした。「深海（しんかい）」の子音がとても美しく聞こえます。子音が聞こえると、相手に気持ちが伝わりやすくなります。「生かされている」と歌詞にありました。普通に生活ができて、生きていることがどんなにありがたいか、つらいことは長く続きません。歌を歌うことで気持ちが明るくなるといいですね。（近藤和子　先生）

○　コロナ禍であってもこうして合唱の練習を続けてこられたこと、それが素晴らしいです。「生きてる地球」という曲を通して歌う喜びが伝わりました。曲のリズムに乗って意欲的に表現されています。声が明るいのがとても良いと思います。生き生きとした素晴らしい演奏でした。ありがとうございました。（佐藤恵一　先生）

○　冒頭のアカペラがとても美しい響きです。曲の世界観がよくでていました。胸声をうまく使い、ホールいっぱいに多声が広がっており印象的でした。「ひがのぼり」の２部合唱、自然な歌声でもっている声をよく生かして歌えていて美しかったです。全体的に難しい部分が多く大変だったと思いますが、しっかりと練習し上手に歌えていて感心しました。大変な状況の中、難曲に取り組み素晴らしいです。これからも歌を歌う喜びを感じて多くの合唱にチャレンジしてください。（宍戸真市　先生）

先輩の協力を得て　－小中連携　朝のあいさつ運動－

８月２９日（月）から３１日（水）までの３日間、第一中学校の生徒が朝の時間昇降口付近に立哨し、本校の子どもたちに挨拶運動を実施してくれました。「挨拶」の語源は「互いに心を開く」という意味です。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」。学校中から気持ちのよい挨拶の声が聞こえてくるようにしたいです。

ご協力に感謝　－第二回PTA奉仕作業－

８月２０日（土）　第二回ＰＴＡ奉仕作業を行いました。早朝にもかかわらず多くの保護者の皆様にご協力いただき感謝しています。夏の間伸びるだけ伸びていた雑草は刈り取られ、校庭も昇降口付近もすっかりきれいになりました。お陰様でよい環境の中、二学期を迎えることができました。紙上を借りて御礼申し上げます。

お知らせ

○　新型コロナ感染症については、感染拡大防止の観点から、引き続き可能な限りの対策をとって参ります。緊急の連絡は、ＮＯＰＡメールにてお知らせしますので、ご覧くださいますようよろしくお願いします。